

2019 年 4 月 11 日

報道関係者各位

株式会社オプティム
(東証一部、コード:3694)

医療画像診断支援 AI 統合オープンプラットフォーム 「AMIAS」(アミマス)を提供開始

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム(以下 オプティム)は、医療画像診断支援 AI 統合オープンプラットフォーム「AMIAS」(AI Medical Image Analysis Suite、略称 アミマス、以下 AMIAS)を提供開始いたします。ユーザーは「AMIAS」を利用することで、オプティムを含め国内外の AI プログラムメーカーが開発した、さまざまな医療画像診断支援 AI プログラムと、PACS(医療用画像管理システム)・モダリティ(CT や MRI 等)などの院内システムを連携して利用できるようになります。なお、2019 年 4 月 12 日～14 日に、パシフィコ横浜で開催する「2019 国際医用画像総合展」で、ブース展示を行います※1。

■背景

厚生労働省は、少子高齢化、医療技術の進歩などの環境変化に合わせた保健医療システムを検討し、「保健医療 2035」※2 として公表いたしました。同省はその内容を踏まえ、医療におけるあらゆる課題を克服するためには、社会に変革をもたらすイノベーションを常時積極的に促進し、取り入れる必要があるという考えのもと、2017 年 1 月に「保健医療分野における AI 活用推進懇談会」を実施し、第 4 次産業の中核である AI 活用の検討を開始しています※3。

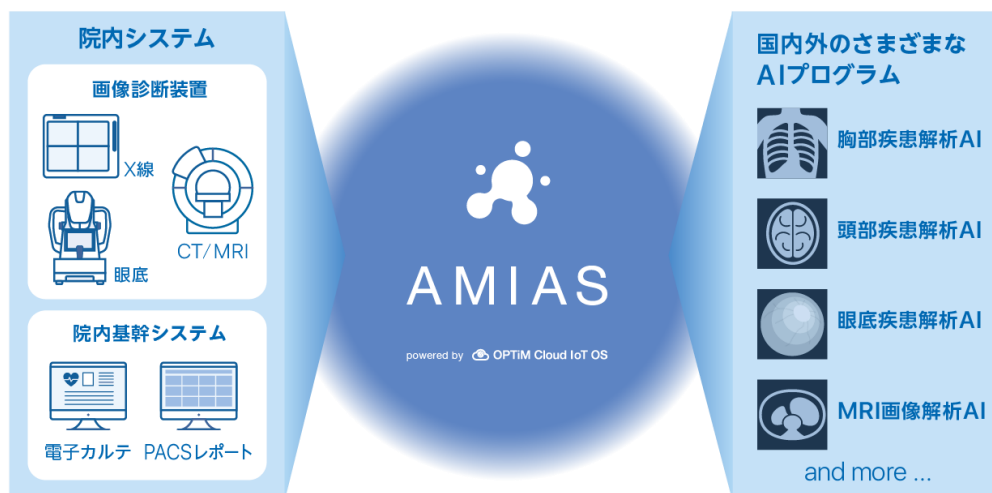
さらに、2017 年 6 月の同懇談会では、「AI 開発を進めるべき重点 6 領域」が定められ、その中の 1 つとして画像診断支援の分野が選定されました。同懇談会では、「ディープラーニングを画像診断支援(ダブルチェック)に活用することによって、画像診断時の見落とし率の低下等が期待される。また、ディープラーニングを使って医療画像のスクリーニングを行えば、簡単な確認のみで良い画像を選別して読影に要する労力を軽減でき、専門医は重点的に確認する必要がある画像のチェックに注力し、読影の精度の向上につながる。」※4 と記されており、医療分野での積極的な AI 活用について期待されていると考えられます。

■医療画像診断支援 AI 統合プラットフォーム「AMIAS」とは

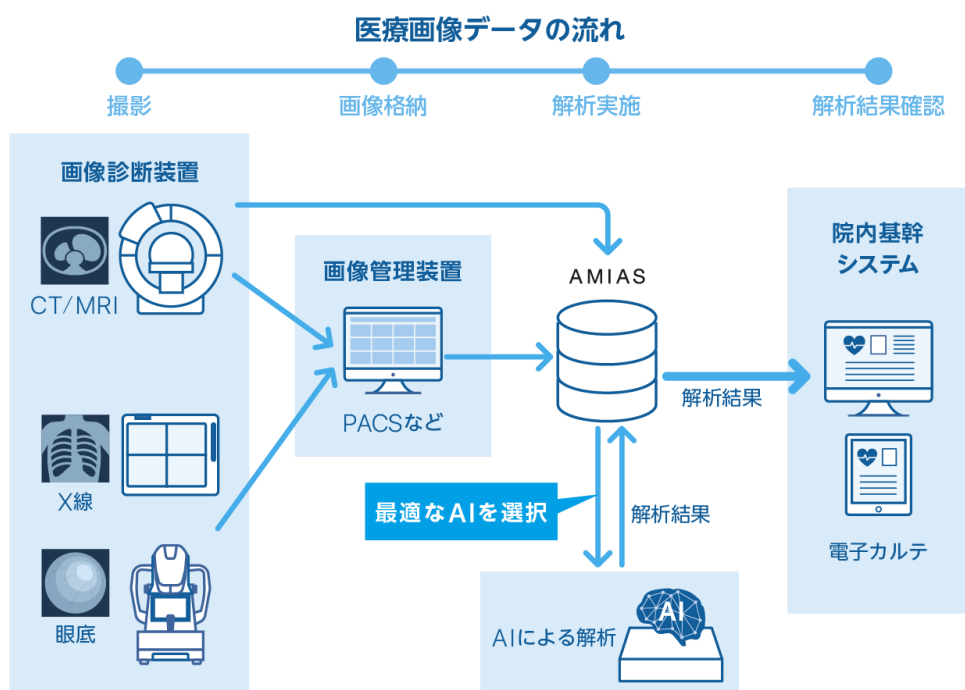
「AMIAS」とは、AI・IoT プラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」をベースとした医療画像診断支援 AI 統合オープンプラットフォームです。本プラットフォームの特長は以下の通りです。

- ベンダーニュートラルな機器接続
PACS(医療用画像管理システム)やモダリティ(CT や MRI)など院内システムを、メーカーを問わず接続できるため、既存の院内システムから得られた画像データに対して、さまざまな医療画像診断支援 AI プログラムで解析をかけることができます。さらに解析した結果は「AMIAS」上や病院もしくは施設内の基幹システムから確認することができます。
- AI プログラムの豊富なバリエーション
オプティムを含め国内外の AI プログラムメーカーが開発した、さまざまな医療画像診断支援 AI プログラムをオープンプラットフォーム上で利用できます。
- 最適な AI プログラムを自動で選択
院内システムから取得した画像データをあらかじめ定めた条件に基づき最適な AI プログラムで解析を行うことができます。(特許取得済み:特許第 6404529 号)

■「AMIAS」のイメージ



■「AMIAS」における医療画像データの流れ



■解析結果表示

The screenshot displays the AMIAS software interface. On the left, a sidebar contains navigation icons and a list of patients. The main area shows a 'Report' for a specific patient, featuring four circular eye scan images (two for the right eye, two for the left eye) with overlaid green and red analysis contours. Below the images are line graphs representing data trends. The interface includes a top navigation bar with 'AMIAS' and 'Admin' options, and a bottom status bar with copyright information.

患者ID	患者名	生年月日	性別
A000-001	佐藤隆志	1968-05-12	M
A000-002	松下千秋	1975-08-10	F
A000-003	山田久志	1958-10-31	M
A000-004	大泉公平	1955-12-25	M
A000-005	中田俊	1968-05-12	M
A000-006	鈴木花音	1975-08-10	F
A000-007	長谷川大翔	1975-08-10	M
A000-008	田中太郎	1975-12-25	M
A000-009	佐藤隆志	1968-05-12	M
A000-010	松下千秋	1975-08-10	F
A000-011	山田久志	1958-10-31	M
A000-012	武野忠之	1980-09-24	M
A000-013	藤岡和	1952-07-13	F

■「AMIAS」パートナー

AI プログラムメーカー



LPIXEL



その他パートナー企業



国立大学法人
佐賀大学



佐賀大学医学部附属病院
臨床研究センター
CLINICAL RESEARCH CENTER, SAGA UNIVERSITY HOSPITAL

YOKOGAWA ◆
横河医療ソリューションズ株式会社

※ 50音順

オプティムは、AI プログラムメーカーや PACS・モダリティメーカー、大学や研究機関などのパートナーを募集しています。詳しくは以下の Web サイトからお問い合わせください。

「AMIAS」サービスページ:

<https://www.optim.co.jp/medical/amias/>

■今後の展望

今後、オプティムは医療機器 AI プログラムの開発・利活用を加速させるため、AI プログラムメーカーや PACS・モダリティメーカー、大学や研究機関などとのパートナーシップの構築を推進いたします。そして、AIを用いてオープンな画像診断支援の実現を目指し、医療現場のさらなる業務効率化や医療の質の向上に寄与してまいります。

※1 「2019 国際医用画像総合展」についての詳細は以下の Web サイトをご確認ください。

<https://www.optim.co.jp/newsdetail/20190312-info>

※2 出典:厚生労働省「保健医療 2035」Web サイトより。詳細は以下の Web サイトをご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/hokeniryou2035/>

※3 出典:2017 年 1 月 12 日 第 1 回 保健医療分野における AI 活用推進懇談会

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000149645.html>

※4 引用:「保健医療分野における AI 活用推進懇談会 報告書」P.7 より。

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000169230.pdf>

【オプティムの目指す、オプティマル事業とは】

～Optimal【形】最適な、最善の、最も有利な～

急速なインターネット普及に伴い、これまでネットを利用したことのないユーザーがネットを利用する機会が増えており、このユーザー層にとって現状のネットは必ずしも使いやすいものではありません。このような状況にあって、ネットを空気のように快適で、息をするように無意識に使えるサービス・インフラに変えていく。オプティマル事業とは、そのためのオプティム独自の最適化技術によるサービス事業の総称です。

製品情報: <https://www.optim.co.jp/services>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/optimjpn>

Twitter ページ: https://twitter.com/optim_jpn

【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム

上場市場: 東京証券取引所市場第一部

証券コード: 3694

URL: <https://www.optim.co.jp/>

佐賀本店: 佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル

東京本社: 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 21 階

代表者: 菅谷 俊二

主要株主: 菅谷 俊二

東日本電信電話株式会社

富士ゼロックス株式会社

設立: 2000 年 6 月

資本金: 443 百万円

主要取引先: NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社 NTT ドコモ、株式会社大塚商会、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作所、ソフトバンク株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社、東日本電信電話株式会社、富士ゼロックス株式会社、リコージャパン株式会社など(五十音順)

事業内容: ライセンス販売・保守サポートサービス(オプティマル)事業

(IoT プラットフォームサービス、リモートマネジメントサービス、サポートサービス、その他サービス)

【Copyright・商標】

※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム マーケティング広報担当 村上

TEL: 03-6435-8570 FAX: 03-6435-8560

E-Mail: press@optim.co.jp

AMIAS サービスページ: <https://www.optim.co.jp/medical/amias/>